

「田代小学校の上柴立棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立田代小学校

2 学年・人数

5・6年生（計25人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

夏休み期間中に5回(19:30～21:00頃)（上柴立公民館，グラウンド）
総合的な学習の時間（多目的室，体育館，校庭）

(2) 発表の日時・場所

令和3年9月26日(日) 運動会（校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

上柴立棒踊り（かみしばたてぼうおどり）

(2) 由来

田代地区の棒踊りは，五穀豊穰や無病息災を願い，薩摩半島から百年ほど前に伝わったとされる。

(3) 構成等

鎌を使い，4人一組となって踊る「棒踊り」，6人一組となって6尺棒と木刀を使って踊る「六尺棒踊り」，そして道具を持たずに全員で円を成して踊る「甚句節」の3種類の踊りから構成される。

5 保存会や地域との連携の具体

地元の文化を引き継ごうと保存会のメンバーが小学校の夏休み期間を利用し，毎年5日間，夜の7時半から9時まで指導して下さる。主に保存会長と連絡を夏休み前にとり，日程を決めて保存会の方の指導の下，練習を行う。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

棒踊り保存会の方に教えていただきながら夏休みにも練習を行った。運動会のプログラムの中に5・6年生児童の演技として位置付け，棒踊りを披露した。その様子が9月30日付の南日本新聞で紹介された。今後も継続して地域と連携して棒踊りを伝承していきたい。

7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



練習の様子（学校）



練習の様子（夏休み公民館にて）



運動会での発表「六尺棒踊」



運動会での発表「棒踊り」

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【保存会の方々】

過疎高齢化が進み，踊りを知る住民が少なくなった。

今後も児童への指導を続け，後継者を育てていきたい。

【教職員】

保存会の方々の熱心な指導により，子供たちが自信をもって踊れるようになったと感じた。地域に伝わる伝統を大切にしていきたいと実感している児童もいた。私たち教職員も伝統芸能として大切に受け継ぎ，これからも守っていききたいと思う。

【児童】

夏休み前から棒踊りの練習を始め，5年生は6年生に教えられながら練習をする中で，「6年生のようにしっかり踊れるようになりたい。」という思いを高めた。打楽器等が入っていないためリズムをとるのが難しいが，夏休みには，保存会の方々の熱意を感じながら，一生懸命練習した。運動会本番では，これまでの練習の成果を出し切ることができて達成感を感じた。